

## 校区防災避難訓練報告

10月11日（土）実施の第11回校区防災避難訓練は、『楽しく学んで！交流広がる防災力』をテーマに、町内会毎の避難行動要支援者の安否確認や決められた一時集合場所への避難訓練に加え、指定避難場所（香椎第2中学校）にて講演会と防災ミニ運動会を開催しました。

今年は、各町内を救出救護、消火、総務情報、避難誘導、給食給水の五つの班に分け、そのリーダー町内会の主導のもとで避難所を開設する訓練に力を注ぎました。本年も東消防署、地域消防団、いきいきセンター、さくらネット、博多あんあんリーダー会、香椎第2中学校等たくさんの応援・ご協力をいただきました。



講演会は、阪神淡路大震災以降、夫婦で各地の災害ボランティア活動をされている「チーム松本」のお二人から「能登半島地震被災地支援状況とその後」をテーマにスライドを交えその体験談、現地の様子を詳しく聞くことができました。

防災ミニ運動会は初めての試みで、最初の大声競争では幼児、小学生から大人まで積極的に壇上に集合し、「火事だ～」、「地震だ～」、「助けて～」等用意された言葉を使っての大声競争に皆さんから拍手喝采でした。次の担架運び競争、玉入れ競争も子どもから大人までたくさんの参加で盛り上がり、お陰さまで無事終了することができました。最後に、炊出し訓練の「だぶ汁」試食、今年も美味しかったとの声を多く聞きました。

今後とも、いつ起こるか分からぬ地震などの災害に備え、校区みんなで防災意識を高めて行きたいと思います。

香住丘校区自主防災会

♪♪ 校区のニュースは、ホームページでもお知らせしています。♪♪  
→「香住丘校区自治協議会」で検索！！

## 献血のご協力ありがとうございました

10月3日（金）、香住丘公民館で行った献血の実施結果は下記のとおりです。当日は、実施時間前からお出でになる方もありましたが、朝からの雨のため来訪された方は昨年度の実績より少なくなり、校区の受付で22名となりました。

ご協力いただきました皆様誠にありがとうございました。

○ 献血来訪者：22名

（校区の受付にて年齢制限等で

献血できなかった方が2名）

○ 献血対象者：20名（献血会場で  
血液センターによる受付された方）

○ 献血適合者：19名（400ml）

○ 献血不適合者：1名（血色素不足等  
で献血をお願いできなかった方など）

香住丘校区献血推進協力会



## 地域安全部からのお知らせ

自治協議会地域安全部では、地域の安心・安全なまちづくりと地域の子どもの見守り活動を推進するため防犯パトロールを実施しています。

### 夜間合同パトロール

毎月第3金曜日に、町内会長、青少年育成会、九州産業大学、福岡女子大学等による夜間の合同パトロールを行い、声かけ、不審者の発見や街頭犯罪の防止に努めています。

### 青パト

2015（平成27）年10月に、青色回転灯を取り付けた防犯パトロールカーを導入し、「青パトで回るっ隊」有志により校区内一円を巡回しながら子どもの見守り、自転車盗などの街頭犯罪防止のための広報パトロールを展開しています。現在の青パト車は、昨年（2024年）12月に導入した二代目が活躍しています。



地域の皆さんもぜひパトロールにご参加いただき、香住丘校区の安心・安全のための活動にご協力をお願いいたします。

電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談・110番

## 第2回 介護フェス開催

日 時 11月30日（日）10:00～15:00

会 場 香住丘公民館

今回は“もっと知りたい！介護のお金”をテーマに介護のプロが皆様のいろいろな質問にお答えします。



今年は、香住丘高校のご厚意・ご配意により約20台の駐車スペースをお借りすることができました。どうぞご利用ください。前回大好評だった「認知症見立て塾」を始め、たくさんのイベントコーナーを設けて皆様をお待ち申し上げます。詳細は、この校区のニュースと同時配布されますちらしをご覧ください。

主 催 香住丘校区自治協議会

## 命を守るために防災（その31—5）

### 気候変動と異常気象

香住丘校区自主防災会

（5）アメリカの憂慮すべき対応

トランプ大統領は、次の政策をとり憂慮すべき事態と危惧されます。

- ・気候変動に懐疑的で、化石燃料の石油・天然ガスを「掘れ、掘れ、掘りまくれ」と叫んでいます。
- ・パリ協定からの二度目の離脱を通知。
- ・環境規制の撤廃、例えば電気自動車の普及策の撤回を表明しています。



（6）私達にできるCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスを排出しない行動

- ・ごみ焼却のCO<sub>2</sub>を減らすために廃棄物を減らす特に生ごみの堆肥化や食品ロスを減らす。
- ・移動手段を見直し、排気ガスを出す自動車の移動を減らす
- ・省エネ型電化製品の購入、LEDの採用等
- ・エコバッグの使用
- ・エアコンの設定温度を適温にする等の電気を節約して消費量を減らす
- ・建物の省エネ性能使用の向上
- ・森林の保全や都市緑化の向上
- ・再生エネルギーの採用。風力・太陽光（光エネルギーと熱）・水力・地熱・バイオマス等を採用した発電量の拡大



気候変動を抑えるために、一人一人ができるに取り組んでいきましょう。